

CHUOH TRY+ANGLE

知っ得通信

2009年7月20日発行 編集・発行：中央教育研究所(株) 〒732-0811 広島市南区段原2-15-5 <http://www.chuoh-kyouiku.co.jp/>



感情の論理 vol.29 「“凄さ”と“形”」

さて、いよいよ夏期講習ですね。

最近では第2募集期に位置づけられ、多くの塾外生を夏期講習に集客し、塾生獲得につなげようという動きが顕著です。この外部生を後期生として獲得することは、塾にとって死活問題です。全員の獲得を目指してください。もちろん、マーケティング的な手法を工夫することは重要ですが、大前提として不可欠なことがあります。

「この塾の先生は凄い」と思わせることです。

「感情の論理」で言うと、満足とは期待値に届いた状態を言います。人は商品を購入したとき、その価格によってあるレベルの期待値を持ちます。商品の価値がそこに届いたとき、人は「満足」と評価します。

しかし、それは価格に見合うだけの見返りを得ただけですので、人は「満足」を当たり前と考えています。そのレベルで留まっているのでは、人は次の行動・・・口コミ・評判・・・に移りません。想定した期待値を上回った部分、それを感動と言うのですが、この感動を体験させる必要があります。感動を得た人は、次の行動に移ります。

人は感動体験をすると、それを人に伝えずにはいられなくなるメカニズムを体内に持っているのです。つまり、生徒本人・保護者が想定した期待値を上回る講習を実施することが、絶対に必要なのです。圧倒的な学習指導を実施して、本人・保護者が感動する成果を出すことが全ての教師に求められます。

ところが残念なことに、学習指導の技術や力量は、生徒には分かりにくいものです。素人は、プロの力量を測ることができないのです。我々がイチローと松井のバッティング技術について論じることができないのと同様に、生徒・保護者も塾教師の指導技術の差を論理的に評することができません。すなわち、口コミになることは難しい。

勘違いしてほしくないのは、だから指導技術はどうしてもよいと言いたいわけではありません。全くの真逆です。圧倒的な力量がなけ

れば、どんなマーケティングも意味がないのです。彼らは指導技術について語れないがゆえに、「分かりやすい（語りやすい）表面上の形」について口コミをするのです。

以前、評判の塾教師の授業を取材したことがあります。授業前に教室に赴き、生徒達にインタビューをしました。

私 「〇〇先生ってどんな先生？」

生徒 「凄い先生。」

私 「どこが凄いの？」

生徒 「・・・声が大きい。」

この〇〇先生が、声の大きさを「凄い」と思わせているわけではないことは明らかです。ただ、子供たちは具体的に「凄さ」を説明できないため、「声が大きい」という返答になってしまったのです。

以上のことから導かれる結論は、「圧倒的な力量による授業によって子供たちに『凄い』と思わせ、それを伝えやすいような『形』を提供する」ということです。

前半部分が「商品力」であり、後半部分が「マーケティング」です。この両者はビジネスにおける車の両輪です。どちらが欠けても車は前に進めることができません。

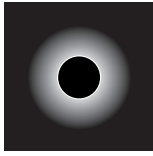
夏期講習を通して「凄い」と思わせる授業を展開し、感動を与え、その感動を伝えやすくするための「形」を提供して下さい。そうでなければ、外部生を集めれば集めるほど「あの塾はたいしたことがない」という悪評を拡げる結果になってしまいますよ。

暑い日々の中、朝から晩まで講習が続き、ややもすると手抜き？の授業をしてしまう塾も見受けられます。だからこそ、ここで気合の入った極上の講習を提供することは、他塾との差別化につながるのです。

「あなた」の健闘を期待します。暑い夏をより熱く！



日食とは

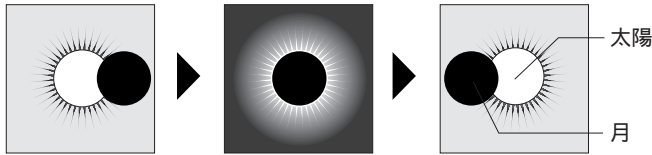


「日食」とは、月が太陽の前を横切るために、月によって太陽の一部（または全部）が、隠される現象です。

太陽が月によって全部隠れる時には、「皆既日食」と呼びます。他に、月から太陽がはみ出して見える「金環日食（または金環食）」や、太陽の一部しか隠さない「部分日食」があります。

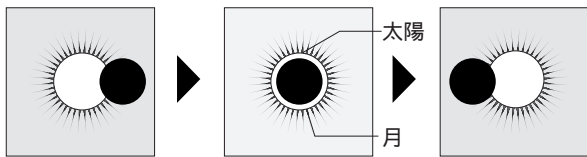
1. 皆既日食

月が完全に太陽を隠し、「皆既日食」となります。太陽が完全に隠れると、空が、日食ごとに異なりますが、一様に暗くなり、明るい星ならば、見ることができます。2009年7月22日に起こる「皆既日食」は、月の見かけの大きさが大きい時期の日食のため、太陽が隠れている時間が長い（6分以上）ことが、特徴です。



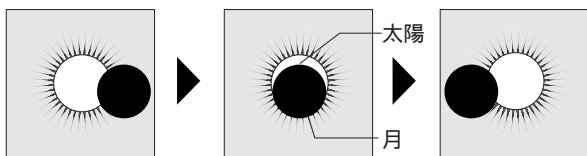
2. 金環日食

皆既日食と同様に、月が太陽の中心近くを通るものの、月の見かけの大きさが、太陽よりも小さい時期のため、太陽が月からはみ出す日食が、「金環日食」です。「皆既日食」と異なり、太陽の光が残るため、空はさほど暗くなりません。

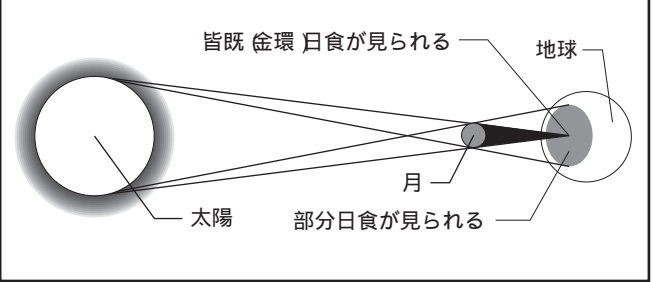


3. 部分日食

「皆既日食」の見られる地域の付近では、「部分日食」になります。月が太陽の直径に対し、どのくらい重なるかが、地域によって異なりますが、空が暗くなったと感じることは、まず無いでしょう。「部分日食」は、「皆既日食」の見られる地域に近いほど、大きく欠けて見えます。この欠ける深さを「食分」といいます。



日食が起こるしくみ



4. 食分

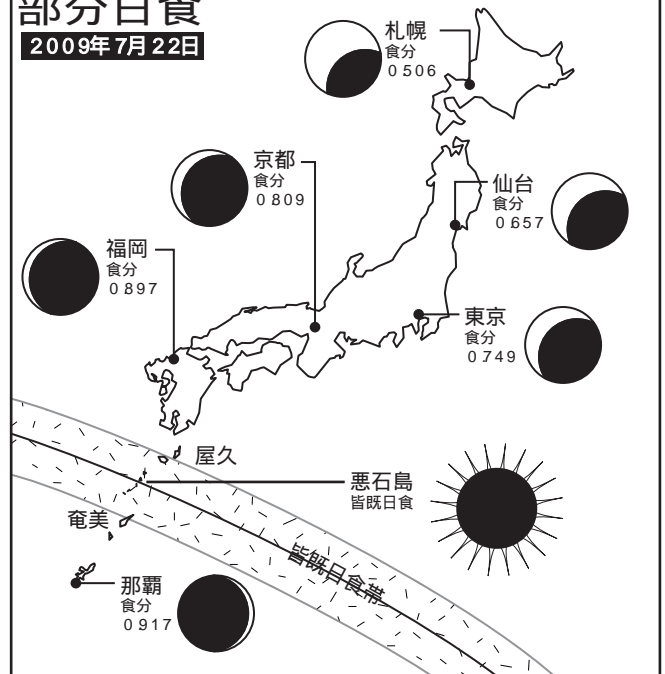
日食の欠ける深さを「食分」という数値で表します。食分0.1とは、太陽の見かけの大きさの直径10%まで、太陽面上に月が入り込み、太陽が欠けることを意味しています。

一般的に、「皆既日食が起こる地域」皆既日食帯に近いほど「食分」は大きくなり、遠くなるほど、「食分」は小さくなります。

なお、太陽も月も、見かけの大きさは、一定ではありません。星自体の大きさは同じでも、太陽と地球、月と地球の距離が、それぞれ変化するためです。

皆既日食 部分日食

2009年7月22日



5. 次の日食は？

次回、日本で見られる中心食（金環日食・皆既日食）は、2012年5月21日の金環日食です。また、皆既日食となると、この次に日本で見られるのは2035年9月2日です。

CHUOH TRY+ANGLE

知っ得通信

2009年7月21日発行 編集・発行：中央教育研究所(株) 〒732-0811 広島市南区段原2-15-5 http://www.chuoh-kyouku.co.jp/

業界 TOPICS

vol.04 「わが社は、活躍してくれる人財をこうして確保する」

不景気の長期化により雇用不安もピークに達していますが、教育業界でも優秀な人材の確保は最優先課題であり、安定成長を続ける各社では様々な福利厚生を行っています。今回は、安定成長企業で人気の福利厚生だけを紹介しします。

安定企業の福利厚生

これが社員に人気の福利厚生

A社「リゾート地である、箱根や浜名湖、妙高、今井浜にある自社の保養所をよく利用。特に連休の時などは利用者がとても多い。その他、法人契約しているリゾート施設なども人気」

B社「毎年春と秋の2回、グループ全社合同のスポーツ旅行を実施している。年々回を追う毎に参加人数も増え、今では170名前後の団体旅行になっている。一泊二日でスポーツ・宴会を通して交流を深めている他、数多くの景品を社員にプレゼントしているので、大変好評。また、プロ野球のボックスシート(東京ドーム、神宮球場、横浜スタジアム)も社員に大変好評」

C社「1、家族祝い金 2、転居費用支援。前者は職員の子が学校(小中高)へ入学(高校は卒業時)の際に十萬円の祝い金が支給される制度で、後者は人事異動に伴う転居が必要の際、転居にかかる費用を会社が負担する制度」

D社「海外研修 情報発信基地として教育に関する情報の収集を目的とする(塾生のためは当然のこと、一企業としても)。秋期リフレッシュ休暇 繁忙期に消化できない休日を別月にまとめて取ることにより年間休日のバランスを計る」

E社「1.東京ディズニーランド&ディズニーシー社員特別割引料金 2.契約保養施設、スポーツクラブの利用など」

F社「会社の保養荘」

G社「年1回の社員研修旅行、プロ野球観戦チケットプレゼント、観劇・鑑賞チケット、契約保養所利用券など」

・・・「かわいい子には旅をさせよ」とよく言われますが、社員にもレジャーが一番、特に家族のいる社員には大好評。「父親が家族に自慢できる会社」がキーワードと言えるでしょうか。

会社に充実させて欲しい福利厚生ランキング

提供 gooランキング

- 1位 住宅手当
- 2位 リフレッシュ休暇
(勤続年数に応じた特別休暇制度など)
- 3位 特別な休暇制度(誕生日休暇など)
- 4位 人間ドック・健康診断の実施
- 5位 資格手当
- 6位 社員食堂
- 7位 食事手当
- 8位 育児休暇
- 9位 レジャー施設への入場割引
- 10位 子どもの看護休暇

多種多様な福利厚生のある中でも、「もっとも充実させてほしい」と多くの人々が求めているものは、昨年に引き続き、住宅手当が1位となっています。やはり、家計の支出の大部分を占める住宅費用の補助を求める声が多いようです。

続く2位3位は、休暇に関する項目が入りました。不況による就労環境の悪化や、「うつ病」の原因とも言われるストレスを考慮してか、休暇に関する項目が前年よりランクアップしています。

他に福利厚生の内容や費用のアップを求める声もあれば、すでにある福利厚生をきちんと利用できるようにしてほしいという声もあがっています。

「日本が世界から一流の国として認められた瞬間」

日本美術の恩師・・・アーネスト・F・フェノロサ
(1853～1908)

仏教に帰依した外国人

明治維新後、欧米先進国に追いつこうと軍事大国を目指していた日本は財政的に厳しい状況でしたが、「欧米に追いつくため」ならたとえ高給でも、有能な外国人の雇用は最優先でした。

1878年、アメリカのハーバード大学に日本の東京帝国大学の求人情報が張り出されました。来日中の動物学者エドワード・モース(大森貝塚を発見した東大講師)が出した募集でした。父の自殺で世間から冷たい風に晒されていた彼は、この募集に運命的な出会いを感じて、すぐに日本行きを決めました。

明治17年(1884年)、その日の奈良は朝から曇り空でした・・・そして、法隆寺で歴史的な出来事が起きようとしたその時、突然太陽が輝き出したのでした。「絶対秘仏」として、住職でさえ見たことがなかった『救世観音像』を収めた法隆寺夢殿が開扉されたのです。四百メートルにも及ぶ布から世紀の目覚めをした観音像は、現在春秋年二回公開されています。これを機に、仏教に傾倒していったフェノロサは程なくキリスト教を捨てて仏教に帰依しました。

凍れる音楽

奈良薬師寺の東塔は「凍れる音楽」として有名ですが、この言葉をフェノロサが初めて使ったかどうかは疑問の声があります。しかし、そんなことはどうでもよい・・・廃仏毀釈の嵐の中で、彼が奈良の諸寺に見た美しさは、彼の夢の世界、想像の世界をはるかに超えたものでした。

「これほどの素晴らしい芸術をなぜ日本人は自らの手で壊すのか？」

戦火を免れてきた諸寺が二束三文で売られ、僧侶が一夜にして神官にさせられるという「奇妙な革新」が各地で行われていたのです。奈良興福寺の『阿修羅像』の如く、フェノロサは全国各地の重要文化財を保存するため奔走したのでした。

西欧美術と融合した日本画の完成

狩野芳崖(かのうほうがい、1828～1888)は、恩師と大喧嘩するほどの変人で、外国人は大嫌いでしたが、鋭い鑑識眼と芸術的に優れた人間性を併せ持つフェノロサの情熱にほだされて、いつしか近代日本美術の復興のため命がけで仕事をするようになりました。日本画に西洋の遠近法や陰影法を融合し日本画の革新を目指したのです。

その芳崖が妻の死後、イタリアの画家ジョルジョーネの『聖母子像』の模写を経て描いた『悲母観音像』は、切手になったことでも有名ですが、描いた四日後に芳崖が亡くなっていることはあまり知られていません。

受戒し『諦信』の法名を授かったフェノロサは、琵琶湖を見渡す滋賀県三井寺(園城寺=おんじょうじ)に分骨され眠っています。

一流とは？

プロ野球選手でも、一流と二流、三流があるそうです。選手の時に二流でも監督やコーチとして一流になった人もいます。イチローや松坂は努力の天才であり、それによって天賦の才を花開かせましたが、それぞれにコーチや恩師がいたはずで、イチローがよく「仰木監督は恩人」と語るのを聞きます。

人と人とのつながりは不思議な運命で紡がれています。たまたま出会った塾の生徒たちを、先生たちがどのような運命を感じて指導するのか？ 生徒たちの将来に目を向けて、その子の才能をどんなやり方で開花させていくのか？ 勉強だけではなく、いろんな才能を見出す観察眼が塾の先生に要求される時代が来ています。

経営的に厳しい時代に、単に新しい顧客(ニーズ)の発掘だけでなく、新たな時代の才能の掘り起こしについても、塾は本格的に取り組まなければいけないのではないかと考える今日このごろです。

取材/記事 : 新教育産業監修・月刊私塾界記者 千葉誠一

救世観音像

国宝観音菩薩立像(救世観音)は八角円堂で知られる夢殿のご本尊で秘仏として長い間人目に触れず過ごしてきた仏像。

フェノロサら調査団の手によって像を幾重にも覆っていた長い白布が除かれ、広く世に知られる。当時、この秘仏の白布をとることは、聖徳太子の怒りに触れ、大地震が起こると言われていた。フェノロサらが布をとるとき、法隆寺の僧たちは恐れをなして、逃げていったと伝えられている。

ご意見・ご要望をお待ちしています。知りたい「テーマ」や内容などについて教えてください。
できるだけ対応したいと思っています。 ご連絡はこちらまで: magazine@chuoh-kyouku.co.jp